

# 環境微粒子計測分科会

## 本分科会のポイント

- 特に、バイオ・環境・製造現場などで応用可能なナノ粒子計測技術に焦点を当て、ニーズ抽出・技術紹介・意見交換などを行える場を提供します。
- 分科会参加者間の討議を通じて、研究開発の推進の方向性やキラーアプリケーションの明確化などを進めます。
- 上記の活動を通じて、新たな連携プロジェクトの創出を目指します。

## 本分科会のねらい

ナノテクノロジーが注目されるようになって以降、ナノサイズの微粒子への関心は高まり続けています。ナノ粒子はバルクとは異なる特徴的な振る舞いや機能を示すため、今や高性能材料の主要な位置を占めています。一方で、マイクロ(ナノ)プラスチックによる海洋汚染やPM2.5による大気汚染の問題なども顕在化してきています。特に、コロナ禍の源になったウイルスもナノサイズの粒子であり、ウイルスをモニタリングすることは、我々の安全安心な暮らしを守るため極めて重要な課題です。そこで、気中・水中に存在する微粒子検出に焦点をあて、技術開発に取り組んでいます。また、存在する微粒子はウイルスに限らず多岐にわたっています。そのため、検出される微粒子を特定するための高機能な微粒子解析技術を開発していく必要があります。

我々は、ナノ粒子の計測に関する新技術の情報収集・研究紹介・討論などを進めると共に、技術の社会実装に向けた議論を深め、開発課題やキラーアプリケーションの明確化や協業の実現を目指します。

## 活動内容

特に、バイオ・環境・製造現場などの分野におけるニーズや技術課題に関して、講演会・技術紹介・ニーズに関する意見交換の機会を定期的 to開催します。

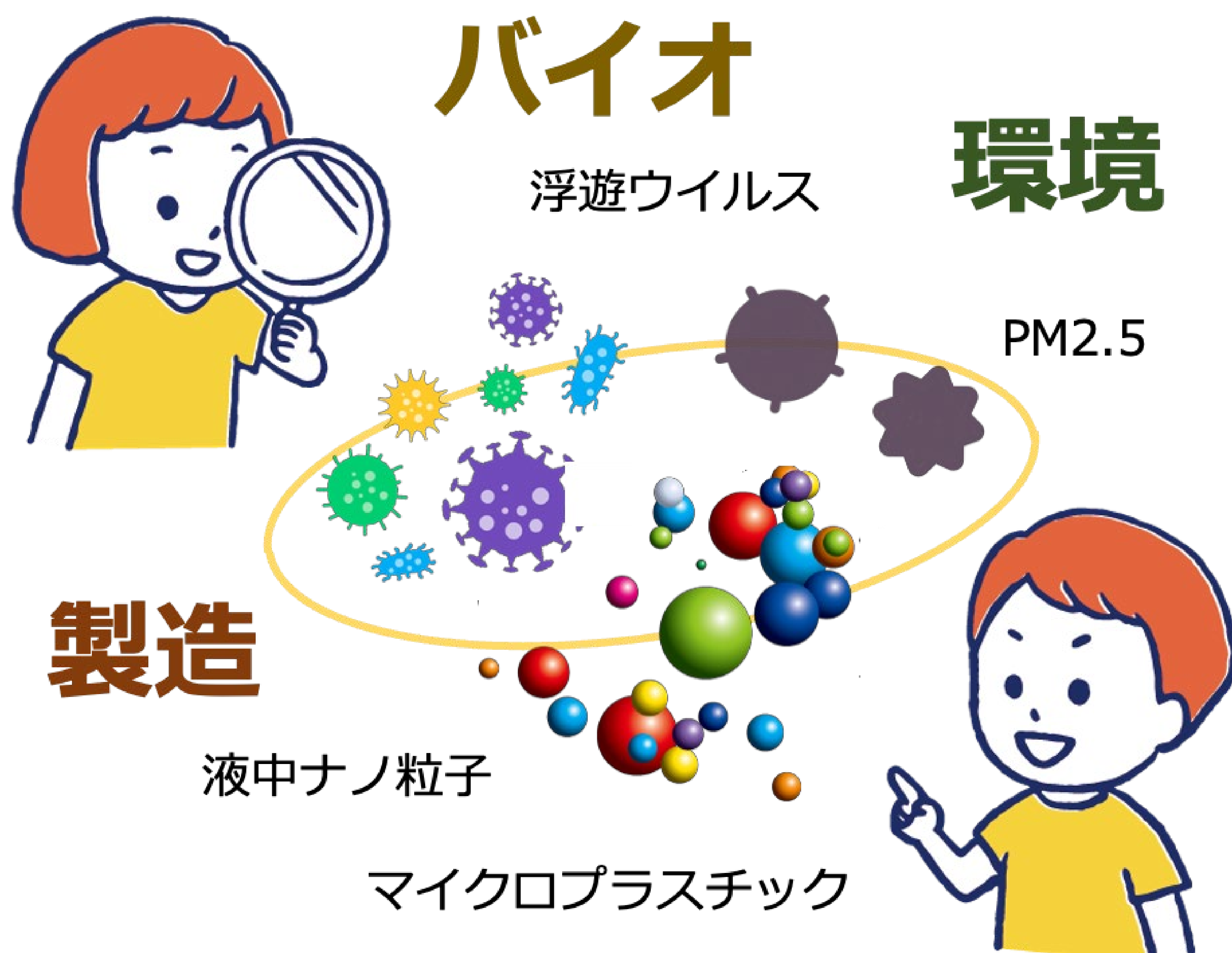
また、リクエストに応じて、産総研の研究現場見学会なども開催致します。

### センシングシステム研究センター

福田 隆史 (t-fukuda@aist.go.jp)

安浦 雅人 (yasuura-masato@aist.go.jp)

堀口 諭吉 (y-horiguchi@aist.go.jp)



国立研究開発法人

産業技術総合研究所